

リイシリ

08 2024 Mail →

利尻町立博物館
Tel. 0163-85-1411



宗谷管内巡回展

10月8日

宗谷管内学芸職員連絡協議会主管による恒例の巡回展示。今回は「宗谷地方の自然公園」と題して、自然公園と「●●町の鳥」のような各地のシンボルとなっている動植物などをパネルにて紹介します。

【巡回展示】宗谷地方の自然公園【期間】9/10(火)～10/8(火)
【場所】利尻町立博物館ロビー【主催】稚内市・礼文町・利尻富士町・利尻町・枝幸町各教育委員会【後援】北海道開発局稚内開発建設部

間の質疑応答タイムを設けます。もちろん発表を聞くだけでもOK。発表者の熱い思いに、聞いているあなたもきっとなにかを調べたくなってくるはず・・・!?

【事業名】フィールド発表会【日時】9/25(水) 18:00～【場所】鬼脇公民館・小会議室【発表者は要申込】発表内容は、オリジナルのデータに限ります。発表を希望される方は、氏名・所属・連絡先・タイトル・要旨(500文字以内)・発表方法を、9/18(水)までに博物館までお知らせください(以下のQRコードでdocx用のファイルもご利用いただけます)。当日はデータをお持ちいただければ、会場でスライドショーも上映可能です。聴講のみも大歓迎!【共催】利尻富士町教育委員会、利尻町立博物館、利尻島調査研究事業



番屋でナイト!

night!

07 SEP

絵本原画展に続く、博物館と図書室の連携事業第二弾。夜の博物館の番屋で、ひと昔前の利尻の雰囲気をごいっしょに味わってみませんか?利尻の昔話から杳中生がインスピレーションを得て、昭和54年に出版した創作童話集「石になったコン」(大橋恵美子編、1979)から厳選した2話を、図書ボランティアの語りと演出でご紹介します。話の合間には、昭和30～50年代に8mmフィルムによって撮影された利尻の懐かしい街並みや修学旅行の様子なども上映いたします。

【事業名】番屋でnight!【日時】9/7(土) 19:00～19:40【要申込】15名程度【対象】中学生から大人まで【集合】利尻町立博物館【共催】博物館・「どんと」郷土資料室



コウモリを探そう

14 SEP

利尻島はヒグマが生息しないなど、夜の森の散策が安心してできる数少ない場所です。コウモリをメインに利尻の夜の魅力をみなさんにご紹介いたします。簡単なガイダンス後は、実際にコウモリを探しに行ってみましょう。意外と身近な場所にいるかも!?

【事業名】コウモリを探そう【日時】9/14(土) 18:00～19:00【要申込】5名程度【集合】鷺泊野球場近くの駐車場を予定中



フィールド発表会

25 SEP

自ら「利尻を調べる」を実行されている方々の情報交換を応援するフィールドワークの発表会。「こんなこと調べています」「こんな発見がありました!」「ここまでわかったけど、次の段階でてこずっています!」など、お気軽に発表してください。持ち時間は一人10分で、発表後は5分

10月の休館日

博物館では、今年度から施設や資料をいっそう大切にしようと、メンテナンスのための追加の休館日を設けることにしています。通常の休館日のほか、10月は15～16日の連続2日間の休館を予定しており、当日は館内でさまざまなメンテナンスを行います。休館についてのご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

10月						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2



一枚の写真

中島善行氏から先日ご寄贈いただいた昭和20年代後半の一枚。仙中校舎前で整地作業に汗を流す生徒たちですが、女子の背中にはモッコがみられ、まだ鯨漁があった時代なんだなあ、つくづく感じさせられました。

ぜひ一度見ていただきたいと思っています。(開澤菜月)

【事業名】ヤスデを知ろう! **【日時】**9/28(土) 18:30～20:00 **【場所】**利尻町立博物館を予定→ただしヤスデの発生状況によっては変更になる可能性もあります。**【要申込】**15名程度 **【その他】**悪天以外は野外観察に行く予定です。服装や足回りなど野外活動に適したご準備をお願いいたします。**【共催】**博物館・利尻島調査研究事業事務局

掲示板

いつでも博物館! "オンデマンド普及活動" 参加希望者の都合のよい日時、場所などに柔軟に対応しながら、こちらで用意した観察会・実習会などを選んでもらうのが、少人数に特化したオンデマンド普及活動の特徴のひとつです。夏の野

外シーズンもそろそろ終わりですが、屋内でもできそうなものもありますので、どうぞご利用ください。



資料寄贈 ▼CD「サロベツ原野の蜃気楼」1点、6/20、島ゆり。▼戦争関連印刷物ほか4点・写真39点、7/30、中島善行。▼ご寄贈ありがとうございました!

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか、過去2年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ご利用ください。ネット環境がない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問合せ願います。

編集後記 久しぶりに編集にもどってきました。当館のことをさらに知っていただけるよう、初心を思い出しながらがんばりたいと思います!(ま)

ヤスデの魅力 お伝えします

28号

民間有志による研究助成制度「利尻島調査研究事業」の今年度の招聘者は、ヤスデの研究者である開澤菜月さん(帯広畜産大学・環境生態学コース昆虫学研究室)。みなさんはヤスデ・ムカデなどを見ると毛嫌いしてしまう方がほとんどかもしれませんが、そんな彼らに魅了されてしまった研究者のお話と観察の場を設けてみました。参加すれば、脚がいっぱいあるけどがんばって生きている彼らのことが、きっと好きになれるかもしれません。以下は、開澤さんからのメッセージです。

利尻島調査研究事業に「利尻島におけるツムギヤスデ目およびジヤスデ目の解明」というテーマで採択していただき、ありがとうございます。私は、帯広畜産大学で北海道のヤスデとムカデを研究して5年になります。最近、特に冬期に活動するヤスデについて研究を進めています。

みなさんはヤスデという生きものを存じでしょうか?初めて名前を聞いた方も多かもしれません。ヤスデは、世界に約11,000種、日本では約300種が知られています。人家近くで大発生したり、屋内に入ったりなど人間生活と関わりの深い種

も存在します。しかし、ほとんどのヤスデは、林床に堆積した枝や葉の下、倒木の下など湿った環境でひっそりと暮らしています。普段は意識されないであろうヤスデたちですが、外観も様々で、夜に紫外線ライトで強く蛍光するヤスデも存在します(なぜ蛍光するのかはわかりません)。ヤスデは移動分散能力が低いので、日本に分布するヤスデ全体の9割は日本固有の種であり、特定の地域や離島だけに分布する種が多いことが知られています。種によっては、北海道内でも分布様式が異なるので、非常におもしろいです。



今回は、ヤスデのことを少しでも知っていただきたいと思い、ヤスデの観察会を企画しました。30分ほどヤスデの概要などを簡単にお話した後、彼らを探して野外で散策する予定です。野外では、夜に紫外線ライトで蛍光するヤスデ、その名も「エゾヤマンバヤスデ」を探してみましよう。暗闇の中で、(紫外線ライトによって)青白く光り輝き、丸みのあるシルエットでゆっくりと動く彼らの姿を